

活動名：第 5 回福島民報杯サッカースポ少岩根大会 U-10

日 程：平成 29 年 9 月 2 日～3 日

会 場：本宮運動公園

参 加：U-12 13 名 U-10 12 名 U-9 8 名

帯 同：熊坂・佐藤・大森コーチ

結 果：U-12 5 位 / 8 チーム中

U-10 4 位 / 7 チーム中

U-9 準優勝 / 5 チーム中

報告：佐藤コーチ

9 月 2・3 日に開催されました、第 5 回福島民報杯サッカースポ少岩根大会の U-10 を担当させていただきましたので報告いたします。

1 日目

アーレ 1 - 0 岩根 SSS

アーレ 0 - 4 大玉 FC

アーレ 2 - 2 本宮 SSS

2 日目

アーレ 0 - 0 白沢 FC

アーレ 1 - 3 ブリジャン FC

アーレ 1 - 1 安積三 SSS

今年になり、8 人制の試合が 2 度ありましたが、どのくらい成長しているか楽しみにしていました。

1 試合目岩根戦では自分たちのプレーをされていて度重なるシュートを打ったものの、相手キーパーの好セーブもあり、1 点を奪ったのみに終わりました。今回の大会の一番の反省点がここにあると思いました。

全ての試合を通して、はじめに確認したこと

◎相手に走り負けないように。

◎自分のポジションを理解してプレーすること。

◎積極的に得点を奪いにいこう。

みんな本当に頑張っていたと思います。

相手に走り負けずに、ボールを持ったらゴール目指してしかけたり、相手が持っているボールにも早くアプローチしたり、抜かれてもあきらめずに最後まで追いかけて走っていました。また、今まで足先だけで奪いに行っていたプレーも、体をしっかり寄せた

り、相手のドリブルにしっかりついて行きながら体を入れて奪おうとしていました。奪った後もドリブルをしかけて抜こうとしていました。

自分のポジションについては、試合をするごとに意識できてきたと思います。ただ、相手チームもそうでしたがボールばかりを見すぎてしまい、ボールにどんどん近づいてしまうことは多くありました。相手もそのようにバラバラなポジションになっている中で、マークにつくと自分のポジションが違くなってしまうこともあります。そんな中で攻守の切りかえを早くして、相手からボールを奪った後にボールがあるサイドの反対を見てごらんという話をしました。その方が相手もあまりいないから攻めやすいはずだよと。数名の選手は自ら意識してプレーしてみたり、メンバーに声をかけて空いていることを教えたりして成長を感じました。

積極的に得点を奪いにいこうという点については、気持ちはとても伝わってきました。フォワードはもちろん、ディフェンスの選手までゴールに向かう姿勢をみせてくれました。ある選手がゴール前でドリブルをしかけていて2、3人に囲まれても自分で点を取りに行きました。隣にフリーな選手がいました。試合後にフリーになっている味方は見えたかいと聞きました。その選手は自分で点を取りたかったと答えました。私は今その気持ちを大事にしたいと思いました。

相手を崩すような組織的な練習はしていません。まだまだ足元の技術はこれからですし、相手を抜けなかったり、フリーな状況でも外したり、キーパーのところシューティングしたり見てもどかしさもありました。しかし選手たちも悔しさを、感じていましたので、まだまだ自分自身の技術を上げて、これから得点を取りきれようになりたいと思います。そのためにますます積極的に得点を奪いにいってほしいです。そして、得点を取るチャンスは多くあったのに取れなかったことは反省点で、これから全員が得点をとる意識を忘れず、練習に取り組んでもらいたいです。

結果としては4位と満足できるものではありませんでしたが、選手たちひとりひとりの成長を感じることができましたし、それと同時に課題も感じることができました。

その課題はボールを扱う技術です。今までにも言われていることです。みんな日々ボールをさわっていますか。リフティングしていますか。ボールを蹴っていますか。1日では絶対にうまくなりません。これからどんどん技術も伸びるときですので、大切な時間を無駄にしないようにしてくださいね。

最後に2日間暑い中応援にいただきましたご父兄の皆様、ありがとうございました。また、大会を運営していただきました岩根サッカースポーツ少年団の皆様ありがとうございました。非常に良い環境のなか、選手たちも思い切りプレーできました。また、来年も是非よろしく願いいたします。

コーチ:佐藤





